

知ろう！考えよう！在宅医療

自宅で大往生 ～「ええ人生やった」と言われるために～

超高齢社会を迎える中、「在宅で暮らし続けたい」というかたが多くみえる反面、当事者にとっては、「家族などに心配をかけたくない」「介護してもらうのに気を遣う」というかたも見えるのではないのでしょうか。また、家族のかたにとっても、在宅で介護をし続けることに不安を持っているかたも多く見えるかと思えます。

本講座では、「在宅医療」とはどういったものなのかを知っていただき、住み慣れた家で最期まで生活し続けるためのイメージを持ってもらうきっかけになるような話をさせていただきます。

と き 7月26日(日)

午後1時30分～3時30分

ところ 保健福祉センターひだまり2階・ひだまりホール

講師 福井県おおい町国民健康保険名田庄診療所 所長

自治医科大学地域医療学 臨床教授

中村 伸一 医師



<講師のご紹介>

平成元年に自治医科大学を卒業。平成3年に福井県庁からの派遣で旧名田庄村に赴任、国民健康保険名田庄診療所の所長となる。以降、福井県立病院での2年間の研修を除き、唯一の医療機関の医師として地域医療を支え、幅広い領域に対応している。

保健・医療・福祉の連携で、旧名田庄村の老人医療費や第1号介護保険料を、福井県内で最も低いランクに抑えることを実現した。同地域の在宅死亡率は約4割である。

現在、全国国保診療施設協議会理事、自治医科大学臨床教授を兼任。

その仕事ぶりは、平成21年NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」でも紹介された。

【主催】鳥羽市在宅医療・介護連携会議 【共催】志摩医師会・鳥羽市

【問合せ】地域包括支援センター ☎ ②5 1182

参加を希望されるかたは、地域包括支援センターへ連絡してください。